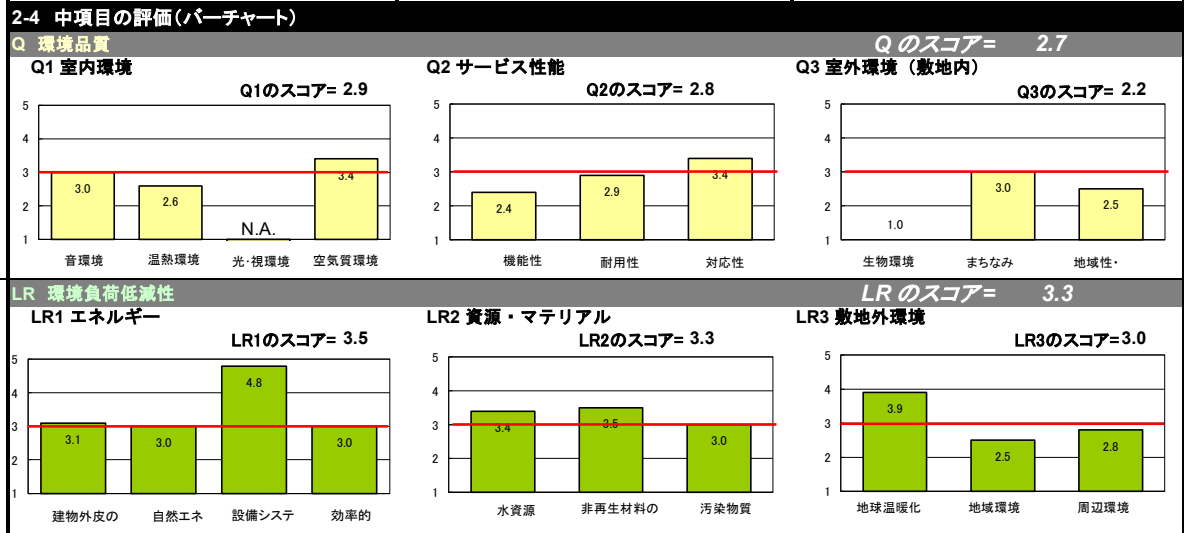
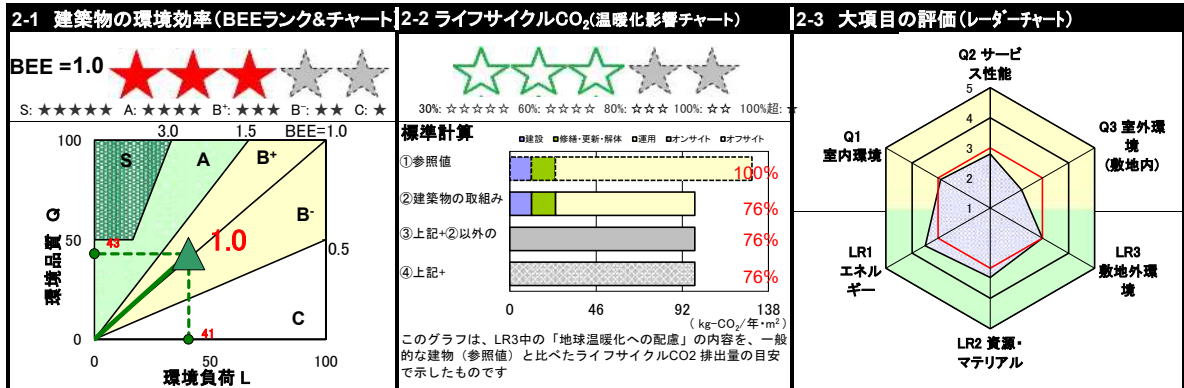


CASBEE[®] あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東郷町春木深池計画	階数	地上2階
建設地		構造	S造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	50人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026年9月 予定	評価の実施日	2026年1月8日
敷地面積	3,153 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社 石原 慎二
建築面積	1,730 m ²	確認日	2026年1月8日
延床面積	2,053 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社 石原 慎二



3 重点項目	
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p>3.9</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p>1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>16.7 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>4.7 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p>3.3</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮
 ②資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
 ③敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
 (仮称)東郷町春木深池計画

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境						0.40	-	2.9
1 音環境						0.20	-	3.0
1.1 室内騒音レベル				騒音対策が必要と考えられる建物用途ではないため対象外	3.0	-	-	-
1.2 遮音					1.0	3.0	1.00	-
1 開口部遮音性能					-	3.0	1.00	-
2 界壁遮音性能					-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	-	-
1.3 吸音				吸音対策が必要と考えられる建物用途ではないため対象外	-	-	-	-
2 温熱環境					0.4	2.6	0.47	-
2.1 室温制御					0.5	3.0	0.50	-
1 室温					3.0	3.0	0.38	-
2 外皮性能					3.0	3.0	0.25	-
3 ゾーン別制御性					3.0	3.0	0.38	-
2.2 湿度制御					3.0	1.0	0.20	-
2.3 空調方式					3.0	3.0	0.30	-
3 光・視環境					-	-	-	-
3.1 昼光利用					-	-	-	-
1 昼光率					3.0	-	-	-
2 方位別開口					3.0	-	-	-
3 昼光利用設備					3.0	-	-	-
3.2 グレア対策					-	-	-	-
1 昼光制御					3.0	-	-	-
3.3 照度					3.0	-	-	-
3.4 照明制御					3.0	-	-	-
4 空気質環境					0.3	3.4	0.33	-
4.1 発生源対策					0.5	3.0	0.50	-
1 化学汚染物質					3.0	3.0	1.00	-
4.2 換気					0.3	3.0	0.30	-
1 換気量					3.0	3.0	0.50	-
2 自然換気性能					3.0	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮					3.0	3.0	0.50	-
4.3 運用管理					0.2	5.0	0.20	-
1 CO ₂ の監視					3.0	-	-	-
2 喫煙の制御				建物内禁煙	3.0	5.0	1.00	-
Q2 サービス性能						-	0.30	-
1 機能性					0.4	2.4	0.40	-
1.1 機能性・使いやすさ					0.4	3.0	0.40	-
1 広さ・収納性					3.0	-	-	-
2 高度情報通信設備対応					3.0	-	-	-
3 バリアフリー計画				独自	3.0	3.0	1.00	-
1.2 心理性・快適性					0.3	1.0	0.30	-
1 広さ感・景観 (天井高)					3.0	-	-	-
2 リフレッシュスペース					3.0	-	-	-
3 内装計画					3.0	1.0	1.00	-
1.3 維持管理					0.3	3.0	0.30	-
1 維持管理に配慮した設計				維持管理に配慮した設計を行なっている	3.0	4.0	0.50	-
2 維持管理用機能の確保					-	2.0	0.50	-
2 耐用性・信頼性					0.3	2.9	0.31	-
2.1 耐震・免震・制震・制振					0.4	3.0	0.48	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)					3.0	3.0	0.80	-
2 免震・制震・制振性能					3.0	3.0	0.20	-
2.2 部品・部材の耐用年数					0.3	3.3	0.33	-
1 躯体材料の耐用年数				②	-	3.0	0.23	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					-	3.0	0.23	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					-	3.0	0.09	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					-	3.0	0.08	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	-	5.0	0.15	-
6 主要設備機器の更新必要間隔					-	3.0	0.23	-
2.4 信頼性					0.1	2.2	0.19	-
1 空調・換気設備					3.0	3.0	0.20	-
2 給排水・衛生設備					3.0	2.0	0.20	-
3 電気設備				②	3.0	3.0	0.20	-
4 機械・配管支持方法					3.0	1.0	0.20	-
5 通信・情報設備					3.0	2.0	0.20	-

3 対応性・更新性				0.2	3.4	0.29	-	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり				0.3	4.0	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり										
2 空間の形状・自由さ			壁長さ比率:0.12	3.0	4.0	1.00	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性				0.3	3.4	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性			② 仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕ができる 仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新・修繕ができる		3.0	3.0	0.17	-	-	-
2 給排水管の更新性				3.0	3.0	0.17	-	-	-	-
3 電気配線の更新性				3.0	5.0	0.11	-	-	-	-
4 通信配線の更新性				3.0	5.0	0.11	-	-	-	-
5 設備機器の更新性				3.0	3.0	0.22	-	-	-	-
6 バックアップスペースの確保				3.0	3.0	0.22	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)				-	-	0.30	-	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			独自③		1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④		3.0	0.40	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.5	0.30	-	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④		3.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上					2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性										3.3
LR1 エネルギー						0.40	-	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.96	3.0	3.1	0.30	-	-	-	3.1
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.20	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.71	3.0	4.8	0.30	-	-	-	4.8
4 効率的運用				0.2	3.0	0.20	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00	-	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	3.0	0.50	-	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	3.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						0.30	-	-	-	3.3
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水			泡沫キャップにより節水をし、かつ節水型トイレを採用している	3.0	4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	3.5	0.63	-	-	-	3.5
2.1 材料使用量の削減			② 独自 ビニル床シート(エントランス他床材)、磁器質タイル(風除室)、断熱材 壁や天井はLGS+GB-Rとし躯体と仕上げ材が容易に分別可能		2.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.24	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					3.0	5.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	2.0	0.05	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					3.0	4.0	0.24	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22	-	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68	-	-	-	
1 消火剤					-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)					3.0	0.50	-	-	-	
3 冷媒				3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境						0.30	-	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			① ライフサイクルCO2排出率76%		3.9	0.33	-	-	-	3.9
2 地域環境への配慮				0.3	2.5	0.33	-	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					2.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	3.0	0.25	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減			独自		3.0	0.25	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-	
3 交通負荷抑制			独自		5.0	0.25	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			適切な量の駐輪・駐車スペースを確保している		1.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	2.8	0.33	-	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1 騒音			独自		3.0	1.00	-	-	-	
2 振動			独自		-	-	-	-	-	
3 悪臭					-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	-	
2 砂塵の抑制					-	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	2.3	0.20	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					2.0	0.70	-	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	-	-	

重点項目スコアシート
 (仮称)東郷町春木深池計画

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE:建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)	評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策			3.9
LR3-1 地球温暖化への配慮	3.9	0.10	
② 資源の有効活用			3.3
Q2-2 耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3 対応性・更新性	3.4	0.09	
LR2-2 非再生性資源の使用量削減	3.5	0.19	
③ 敷地内の緑化			1.0
Q3-1 生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:16.7%/建物緑化:4.7%
④ 地域材の活用			1.0
Q3-2 4) 地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2) 地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)東郷町春木深池計画

計画上の配慮事項	
総合	建物利用者が快適に過ごせるよう配慮している
Q1 室内環境	建物内全館禁煙としている
Q2 サービス性能	壁長さ比率:0.12
Q3 室外環境(敷地内)	敷地周囲に植栽を設けている
LR1 エネルギー	BPI=0.96、BEI=0.71
LR2 資源・マテリアル	躯体材料以外にリサイクル材を積極的に採用している
LR3 敷地外環境	適切な量の駐車・駐輪スペースを設けている
その他	特に無し